

第 22 回 岡田山撤去連絡協議会を開催しました

令和6年9月11日、第22回協議会を開催し、岡田山撤去事業の進捗状況等を確認しました。

構成員、会長、副会長の選任等

第22回協議会では、構成員、会長、副会長 を選任しました。地元深草学区からは、構成員 として、自治連合会副会長の森津氏、宮元氏を 新たに選任したほかは、前年度までの方々を留 任し、北川会長、久保副会長、酒井副会長につ いては、いずれも再任となりました。

(メンバーは裏面をご参照ください。)

「岡田山撤去事業第2期計画工事」完了

令和4年に始まった「岡田山撤去事業第2期計画」に関する工事が令和6年5月に完了しました。手狭になっていた敷地内の施設が再配置され、周辺道路も広がったことで令和11年度末の完全撤去に向け、安全かつ効率的に撤去作業を進める環境が整いました。

岡田山撤去の進捗状況・環境調査結果・交通量調査結果の報告

㈱HIRAYAMA及び京都市環境政策局から、岡田山撤去の進捗状況、環境調査結果、交通 量調査結果の報告がありました。

令和 5 年度の年間撤去量は、60,287 ㎡となり、計画量以上に撤去が進んでいることを確認しました。令和 6 年度も順調に撤去が進んでおり、7 月末時点で岡田山全体の約 59%にあたる470,289 ㎡の撤去が完了しています。

また、環境調査(大気,水質等)及び交通量調査の結果についても基準値*内となっており、 岡田山の撤去が適正に進められていることを確認しました。

引き続き、安全運転にも留意しながら撤去を進めてもらうよう、意見を伝えました。

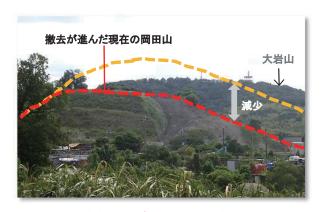
※ 岡田山の廃棄物(掘削時)の基準値

土壌の調査項目 (例)	土壌含有量基準 (mg/kg)
鉛及びその化合物	150以下
砒素及びその化合物	150以下
ふっ素及びその化合物	4,000以下



覧								

【岡田山撤去の進捗状況(定点撮影)】





(令和6年9月撮影)

(平成23年12月撮影)

岡田山の背後に写るのが「大岩山」です。平成23年に撮影した右の写真と比べ、令和6年に撮影した左の写真は、大岩山の見える範囲が大きくなっています。現在の岡田山の形状は、赤の破線ですので、岡田山の頂上部分がなくなるなど、撤去が進んでいることが分かります。

また、京都市の違反指導により、手前にあった建築物の撤去が大幅に進んでいることも分かります。

岡田山の撤去と岡田山撤去連絡協議会について



通称「岡田山」は、稲荷山南山麓から名神高速道路の間の「大岩街道周辺地域」にある、過去 に倒産した産業廃棄物処理業者が、土やガレキ類等の建設系混合廃棄物を積み上げたものです。

「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、現在の地権者の一人である㈱HIRAYAMAが、京都市の指導監督の下、自社の廃棄物中間処理業と並行して、令和11年度末を目処に岡田山を完全撤去します。

岡田山撤去連絡協議会は、岡田山撤去中の周辺地域の安全確保と生活環境を守るため、深草学区自治連合会・㈱HIRAYAMA・京都市の三者で締結した協定に基づく協議会であり、深草学区各種団体の会長等の参画により、岡田山撤去に関する協議・連絡調整を行っています。

■ お問い合わせ先

・連絡協議会に関すること

深草支所 大岩街道周辺地域環境整備担当

電話:075-642-3175

・岡田山撤去に関すること

京都市環境政策局 廃棄物指導課電話:075-222-3957

・周辺の環境調査に関すること

京都市環境政策局 環境保全創造課 電話:075-222-3955

■ インターネットで岡田山撤去の取組のページを 設けています。 ____

- ・【岡田山撤去の取組】で「検索」
- →「京都市伏見区役所:岡田山撤去の取組」 を選択してください。



→「岡田山撤去の進捗状況及び環境調査結果 について-京都市」を選択してください。



発行:岡田山撤去連絡協議会(地元構成員)

会 長 北川 晃 (東部地域環境対策推進協議会 会長)

副会長 久保 穂積(自治連合会 会長)

酒井 彦三(交通安全推進委員会 会長)

構成員 島西 重樹(自治連合会 副会長)、岩知道 志郎(自治連合会 副会長)

森津 伸六郎 (自治連合会 副会長)、宮元 悠佑 (自治連合会 副会長)

藪 忠子(市政協力委員連絡協議会 会長)、中井 貞一(保健協議会 会長)

森澤 幸次(自主防災会 会長)、藤田 清臣(東部地域環境対策推進協議会 副会長)

